

むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。

ある日のこと、おばあさんは、山へたぎぎを拾いに行きました。たぎぎを拾っているうちに、おばあさんは、のどがかわいてたまらなくなりました。そこで、どこかに水はないかいなと思つて、あたりを見回しました。けれども、池も小川もありませんでした。

おばあさんは、水を探して、だんだんと山の奥へ入って行きました。

やがて、小さな泉を見つけました。おばあさんは、喜んでかけよつて、水を飲みました。その水が、あんまりおいしかったので、おばあさんは、ごぶごぶとお腹いっぱい飲みました。すると、力がわいてきて、とても元気になりました。おばあさんは、水にうつた自分の顔を見て、びっくりしました。なんと、おばあさんは、若い娘になっていたのです。

家では、おじいさんが留守番をしていましたが、おばあさんがなかなか帰つて来ないので、心配していました。すると、若い娘が、やつて来るのが見えました。おじいさんが、

「どこかで見たことのある人だ」と思っていると、娘は、

「今帰つたよ」といつて、家に入つて来ました。その声が、おばあさんの声だったので、

おじいさんは、びっくりしました。

「おまえは、どうしてそんなに美しい着物を着て、そんなに若い娘になったんだ」

おじいさんがきくと、おばあさんは、

「それがねえ、おじいさん。たぎぎを拾っているうちにのどがかわいたので、水を探して、山の奥へ奥へと入って行つたら、小さい泉があつてね。その水を飲んだら、こんなに美しく若がえつたんだよ」と話しました。おじいさんは、

「そんなら、わしも、若くなりたいもんだ」といつて、おばあさんに道を教えてもらつて、出かけて行きました。

おばあさんは、おじいさんの帰りを待っていました。けれども、いくら待つてもおじいさんは帰つて来ません。そこで、心配になつて、泉へ行ってみました。すると、おじいさんは、泉のほとりで水を飲みすぎて、赤ん坊になっていましたとさ。

ぽつちり